

3 国際規格の対応

3.1 ISO/TC269

7月11日から9月10日までの間の会議の開催は無かったが、以下の登録文書の回覧があった。

N440~N452の文書回覧及びSC2関連のN5~N15の文書回覧があり、SC1議長にポルトガル、SC2議長にフランス、副議長に中国が選出された。またTC17/SC15におけるSC1,SC2とのリエゾン締結投票の結果、賛成票が多数であった。

この他、AG11,AG12,AG13のエキスパート募集結果が回覧となった。

3.2 ISO/TC17/SC15

7月28日に国内委員会が行われた。今回から古川氏に替わって、総研の石塚氏が委員長になった。これはレール関係の審議が終わり、今後は車両部品が主になること等の理由によるもの。この中で、6月24日にポルトで開催された総会の報告があり、次回は5月26日にソウル開催を第一候補とし、代案は東京とする。

定期見直しを迎える規格への対応が審議され該当する3つの規格の「確認」が決議された。また、WG1の国内作業部会の報告及び超音波探傷作業部会の活動状況が報告された。

3.3 IEC/TC9 関係

9月7日にIEC/TC9第15回国内委員会が鉄道総研千代田オフィスで開催され、第23回IEC/TC9マネジメント会議、第22回IEC/TC9 CAG会議、IEC/TC9の規格審議状況及び第56回IEC/TC9年次総会対応の報告がされた。また、新規格の提案(Ni-MH電池)及び第23回IEC/TC9 CAG会議への対応などを審議した。